



ニュースリリース 平成 27年 4月 10日

「地域中核企業活性化ファンド」への出資について

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、地域の戦略産業の育成を支援するため、「地域中核企業活性化ファンド」へ出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、地域の核となる企業の早期経営改善等を目的として設立され、株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)と株式会社エスネットワークス*が共同で設立する REVIC パートナース株式会社により運営されます。

本ファンドは、潜在的競争力を有しつつ、業績改善や M&A 等による構造改革によりさらなる成長を目指す国内中堅企業に資金を供給するとともに、経営支援人材を派遣します。

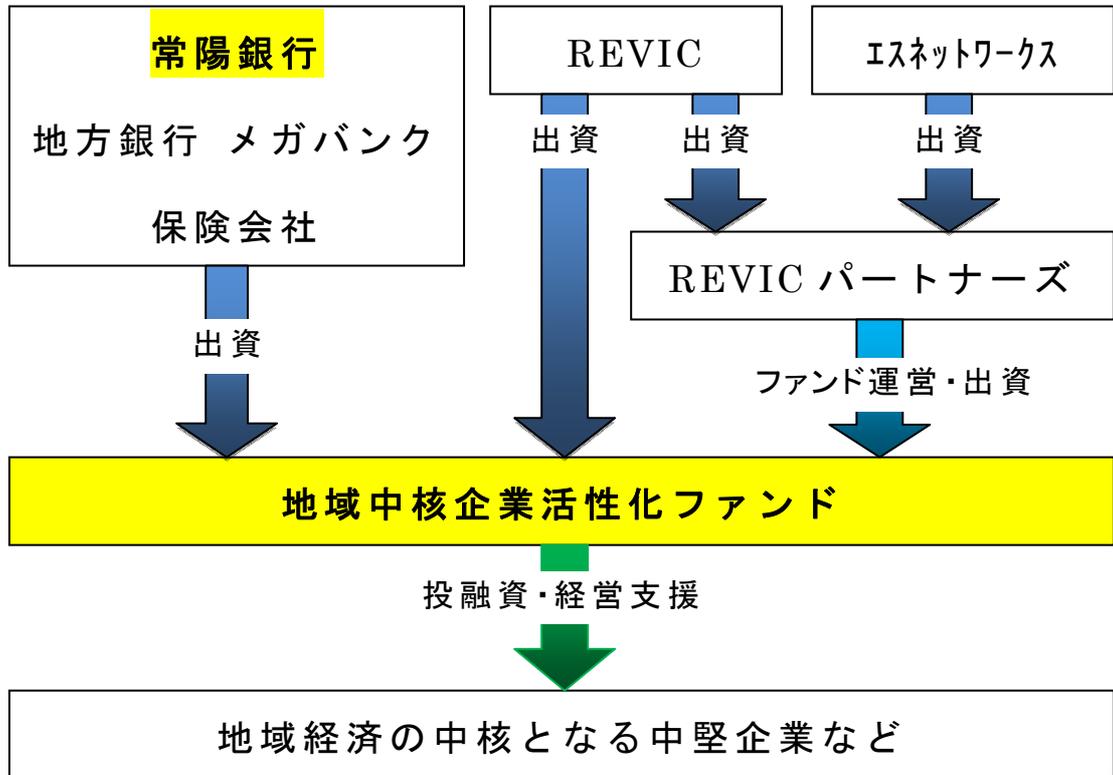
当行は、今後とも、総合金融サービス機能の提供を通じて地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

※企業の海外進出支援にノウハウを有するコンサルティング会社

記

ファンド名	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合
設立日	4月10日(金)
ファンド金額	240.5億円(当行出資額 5億円) ※今後、総額300.5億円を上限として追加出資を募る
運営事業者	REVICパートナーズ株式会社 ※株式会社地域経済活性化支援機構および株式会社エスネットワークスによる合弁会社
設立時組合員	(株)常陽銀行 地方銀行 生命保険会社 REVICパートナーズ(株) メガバンク 損害保険会社 (株)地域経済活性化支援機構
存続期間	約7年

【スキーム図】



以上